

磐城時報

編輯 石城郡平町 印刷 石城郡平町 電話 磐城時報社 電話 磐城時報社 電話 磐城時報社 電話 磐城時報社

製糸操業復活で 常磐各礦一息つく

本年三月は例年より 二十七萬圓減収

鐵道納炭數量價格減又は外來炭萬餘圓の減収を示してゐる、是れ進出、送炭制限擴張等炭礦經營を同地方鐵道輸送上の減少數字上幾多の不安ある上に更に當業に依れば左の如くである

國製糸工場一齊休業が期限終了となり、今日から操業再開され信州方面行きの送炭が景氣良く繰、湯本、赤井の各驛から輸送されるので、炭礦界は漸く蘇生の色を見せ、活氣付いて來たが、例年比同月から製糸界好轉をみる處本年は盟休となつたので、消費炭の數字は實に甚大な減額を來し、大小各炭礦では同月中に約六萬噸價格二十七

海岸地拂下げで 植田と錦が競争

結局地元錦村に拂下か

石城郡勿來、江名、四倉、大浦田町民の競願から未だ拂下が決草野、夏井、高久、豊間、錦の定せず同署でも行儀んでゐるが各町村地内の七十六町歩に近く地元錦村に圓滿協定するものと観られてゐる

過般平稅務署で嚴密調査を遂げそれ、地元民に一反歩最高四百圓最低五圓の程度で六十町歩を八千百で拂下げたが未だ同郡平警察署高等係巡查部長菊地喜錦村の十六町歩が地元民及び植兵衛氏は福島署刑事係に、同内

勤係阿部市河氏は福島署詰、高等係巡查西關昇氏は原町署、刑事係瀨谷義則氏は富岡署に何れも榮轉し三日赴任する。

平水道工事 補助指令到達

内務省では平町の上水道事業に對し總額六萬二千圓を左の年度割で補助する旨廿一日指令に接した

石城郡内 校長異動

小學校教員の異動は三十一日午九時發表されたが石城郡内の分左の如くである。

- 新任地 舊任地 名氏
- 鹿島 内郷 根本喜代一
- 箕輪 川部 成田政助
- 飯野 渡邊 近藤勝義
- 渡邊 夏井 赤津欣之助
- 夏井 宮本 松崎金藏
- 飯野 天川五郎、渡戸鈴木茂作
- 飯野 天川五郎、渡戸鈴木茂作
- 飯野 天川五郎、渡戸鈴木茂作

夜警慰勞會

郡中村消防組では四月二日舊城址にて夜警慰勞大會を兼ね火災發見者の表彰を行ふ由。

平名物男の館屋が 妻を斬つて自首

妻の両親に入り込まれて 生活難からの兇行

頭髪をチョン鬚にした豆腐屋と綴の親戚の許に行つて貰ひ度いして、その後は八木節の館屋と相談中の處、この事が原因でして名物男に敷えられてゐた平三十一日夜口論となり妻ヨシも町鎌田町字下川原館行商皆川七父と一緒に出て行きますと言ひ

師範を巢立ち 配屬された新教員

四月一日から訓導として配屬された師範卒業生中濱三郡の分左の如くである。

- 石城郡 ▲四倉小野幸一、岡田喜平 ▲平窪新兵衛 ▲川部佐藤一 ▲川部横田廣臣 ▲磐崎藤野貞信 ▲高久大和田一美 ▲豊間鈴木孝正 ▲小名濱小濱常司 ▲中根武夫 ▲内郷浦山貞一 ▲泉椎名武雄 ▲錦北郷進 ▲勿來橋本秀夫 ▲勿來鈴木章 ▲赤井第二校廣川登志 ▲好間金子徳太郎 ▲赤井第二松本政壽 ▲渡戸柴崎茂三 ▲神谷橋本正雄 ▲草野神谷巖 ▲大浦助川光夫 ▲小川松本正夫 ▲入遠野岡本助 ▲好間仲村淑子 ▲上三坂佐藤キヨ ▲神谷先崎愛子 ▲大野佐藤余 ▲小名濱門馬ツル子 ▲田人山崎チサ ▲菅野キクイ ▲高久鈴木イタ ▲鹿島菅野ハル ▲好間山本徳 ▲廣野西直 ▲木戸井出宣 ▲龍田山形美喜男 ▲上岡宮島龜太郎 ▲木戸三國武雄 ▲ある

磐城駒せり市

平均四十一圓

磐城駒せり市は三十日より石城郡澤渡村大字中寺で開市してゐる初日の出場三十六頭賣上金一千四百九十七圓で最高七十一圓で低十八圓から平均四十一圓であるが昨年よりは非常の安價である

合津醫師 東京で長逝

平町田町合津耳鼻咽喉科醫院院長合津重世氏は過般來指端に負傷し東京市芝區東京病院にて治療中の處經過思はしからず三十日夜死亡した、遺骸は三十一日午後七時自宅到着二日後一時自宅出棺平町當火葬場火葬に追つて郷里永戸村密藏院で本葬を執行する

裁桑講習會

郡養業同業組合主催で四月二日午前十時から原町蠶業取締支所内に於て裁桑講習會を開催する事になつた、講師は本縣農林技師赤澤氏で一般聽講を歓迎する

川端藥師大祭

郡鹿島町右田の川端藥師では豫き(六四)は三十一日午前五時頃御堂の改築中であつたがこの自宅墜敷で猛死をげた原因は、程竣工したので四月三日大祭を囁息に惱まれ前途を非觀した執行右田濱お下りがあるが各種結果である

櫻花近づく 列車の乗客まで 不夜城と化する松ヶ岡

小町松ヶ岡公園の櫻の開花も間込で來る十日の忠魂祭には二分近になつたので平町では不景氣位の統ひを見るものと豫想され追ひ拂ひとばかりの意氣込みは、公園の掛茶屋もそろ／＼準備を始め、松ヶ岡で盛裝を飾る模様が、天候次第で本の花期は非常な賑はひを呈するであらう、尙園内賣店の當籤者は左の如くである。

平町人事

- ▲出生 六間門西洋洗濯業伊藤貞衛二男正孝
- ▲死亡 搔搔小路勝三郎長女色川榮津(十二) ▲田町合津重世(五四)
- ▲老翁の猛死 石城郡内郷村高坂坑夫志田長五郎の妻の

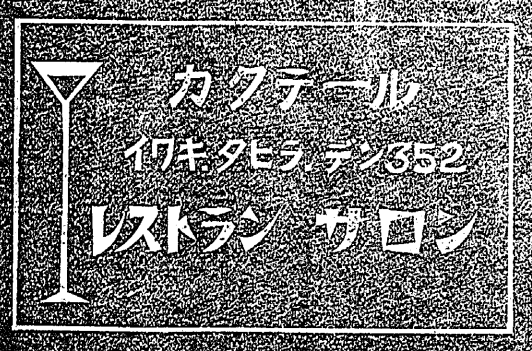
(愛誦) わがおひ立ち
(山窩生活) 幼少譜一

飯村 閑舟

岩をかみ木の根をくぐり落ちる水、いよ／＼清くわが胸を打つ。
寂しさを小さき胸に流さし、かどつれ／＼なくはカツ＝鳥のみ。
名は知らね夜こそよく啼くトツザンの鳥ねにわれは父を慕ひつ。
米をどぎ鍋を洗ひてうき／＼と忍ぶもあはれ暮れてゆく山橋みちや川瀬のはやみ折々に眼に／＼つしつゝ涙にうきし。

少年青春譜一

あらそひを嫌ひる父は神のごと仕へて不眠、とみに言はざる。
わが父は貧しくすぎた絶ゆめ



なく働きをれば吾が胸ぞつく
學友とくつろぎあはれ談論を
たふかはす意氣の醜きぞるみ
あはれも唱へがたきや妹の
春なほあさき短かいのちを。
枕べにわが妹の友ら寄り首を
かしげで泣くもゆかしや。
妹が眼に光る涙を涙こそ諦め
がたく今もちらめく。

職人募集
合着の御注文は是非當店へ
念入實費調製
平南町 伊藤洋服店
川岸通

天晴!!! シーズン初頭のホームラン

好評又好評 俄然人湧き如く 大キマノ映画陣の容

化書映と藝文衆大作特超シヨシケダロブノキマ

監督 本田 美禪
原作 吉野 二郎

お洒落狂女
映上部全 篇決完

主演 米光 智子
助演 木田 敬之 忍助 郎明子

若人の血潮は高鳴る大ホスツ画映

新帝キネマ超特
入社一回主演
中野英治 作
映書

若き血に燃ゆる者
早慶戦の實寫其入東各京の地ケシーノ

通普金料 根中 亨放氣吞
座聲有 ノキマ 演共

大ホームランの超特別興行 四月二日ヨリ

賣地
平町字鎌田町十七番地
宅地三百五十坪
右賣却致します、御希望者は左記に
御交渉下さい
平町字田町五十七番地
丸山組
電話 六二番

BISHINGAN
子宮美神丸
代理店 平町五丁目 山野邊藥局

このな微候の人々は一時も早く治療すべきです
●血帯下、赤帯下、コシケ多き人、下腹痛く筋張り又は
●月經時に腹痛、腰脚の冷え又は痺れる人、月經不順
●時前後に白粘り、下血、崩れ、子宮痛、子宮炎、子宮
●頭痛、子宮痛、眩暈、吐き、嘔吐、肩が凝り、背が痛む人、逆産
●早産する人、定価一週分一八〇、二週分三三〇、三週分五〇〇

一日一錠 僅五錢
自宅療 効卓越 價安 簡便
四つ揃った理想薬です

生花教授
家元龍生派池坊
生花、盛花、投入、自然
営業では御座りませぬ趣味で御相手致し度うございます
平町 仲町三 (電話六二五番)
華道教授 天水庵岡田悦

レコード界一大革命
諸物價ガ總テ下ガツテ居リマスノニ一ツレ
コリドノミガ下ラナイト云フ御言葉ガ多イ
様デシタ、處ガ今度値段ガ半値デ然モ電氣
吹込ミノ上等品ガアラワレマシテレコード
界チアツト言ハセマシタ。
是非御試聴ヲ願ヒマス。
音譜各種アリ
十時盤一枚 七十錢均一
大谷時計病院
電話 一九番

吉田眼科病院
父重世儀病氣之處療養不相叫三月
三十日午後九時十分東京市芝區東
京病院に於死去致候間此段謹告候
葬儀は四月二日正午より自宅に於て告別式を執行
同一時出棺茶毘に附し追而郷里永戸村密藏院に埋
葬可致候
昭和六年三月三十一日
福島縣石城郡平町田町

男 合 合 合 合
親戚總代 津 津 津 津
友入總代 上 合 秋 合
田 津 山 津
耕 勇 越 音 靜
作 喜 三 治 雄

和洋銅鐵金物問屋
釜屋商店
諸橋久太郎
電話 九九番

吉田眼科病院
平町紺屋町
電話 六八番

亡父平吉儀葬送の際遠路態々御
會葬被下且つ御鄭重なる御香奠を
贈はり有難く奉深謝候
一々拜趨御禮可上申答の處乍畧儀
以紙上御挨拶申述候
四月一日
鈴木 平 吉

亡父平吉儀葬送の際遠路態々御
會葬被下且つ御鄭重なる御香奠を
贈はり有難く奉深謝候
一々拜趨御禮可上申答の處乍畧儀
以紙上御挨拶申述候
四月一日
鈴木 平 吉